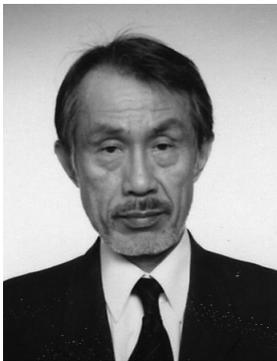


新役員紹介

とを考えます。これからのテキスタイルデザインに於いては、製品としてのデザインをしっかり視野に捉えた、より優れたクリエイションとその発信力を強化して、私達TDA会員それぞれが自らの存在価値を示して行かねばなりません。

この度3代目理事長を拝命することになり、責任の重さを感じると共に当初の「志」を一層自覚して、会員の皆さんと一緒に積極的な活動をしていきたいと思えます。当面の課題については総会資料にも記していますが、単年度では達成し難い課題については中期的な計画を基に推進してクリアしてゆかねばなりません。

当初からの「志」は勿論のことですが、更に「希望と夢」を加えた新しい活動を通して日本テキスタイルデザイン協会を盛り立て、会員それぞれが次世代を担う若い人達の憧れになるように頑張っていこうではありませんか。



■副理事長 鈴木 洋行氏

長年綿紡績の会社にいるせいか、最近のファーストファッションにどうも馴染めない。創造的デザインの欠落、氾濫する消費のためのモノづくりのように思われます。紡績に必要な綿花は、収穫まで1年を要します。持続できる地球環境に思いを馳せる時、もっと堅実なスローファッションがあっても良いのではないのでしょうか。繊維産業の営みに、今立ち止まる勇気が必要に思うのです。かつて繊維産業は全産業のプラットフォームでした。デザインというソフトパワーで繊維産業の再構築ができないものかと、考え込むこのごろです。



■理事 怡田 勉氏 人材育成教育部会

不景気にも関わらず、有り難い事にデザイナーとして多忙を極める毎日です。

なのに大役を引き受けて大丈夫なのかと葛藤は正直ありました。スタジオ設立から10年、会員として10年、専門学校講師を始めてからも10年経ち、世の中と自分自身の関係を見つめ直す機会と捉えてお受けする事としました。若者と接する機会の多さを活かし「彼等の声を協会に届ける事」「テキスタイル界に優秀人材を確保する事」を指針として活動したいです。